



「FRIコンサルティング最前線Vol.3」 の発刊に寄せて

株式会社富士通総研 代表取締役社長

佐藤 正春

本誌「FRIコンサルティング最前線」も創刊から数え、今回で3号目となりました。コンサルティング事例の発行にあたっては、コンサルティング実践先であるお客様にご協力頂き、事例の掲載を快諾いただいた数多くのお客様各位には、お礼を申し上げます。私たちはこういった数多くのお客様に支えられているのだとあらためて実感いたします。

私たちを取り巻くビジネス環境の変化は、資源の枯渇、環境問題、少子高齢化など、深刻の度合いを深めています。ICT業界をみれば、クラウドをはじめとして新たなサービス形態の出現による価格破壊およびグローバル化の加速というパラダイムシフトともいえるべき変化がおきております。しかしながら、どのような環境下においても、コンサルティング業を営む私たちは、社会・経済・産業の潮流を先取りし、すばやく提言・提案する能力とお客様の問題発見・問題解決ができる能力を持った人材が唯一の経営資源です。お客様の要求・期待が多岐にわたり、かつ高度化していることに対応できる知識と能力を習得することを益々重要と感じております。

今回の特集は「人がつくる知恵の連鎖」とさせて頂きました。これは、お客様企業における様々な課題解決に向けて、関連する部門が知恵を出し合い、これらの知恵が新たな知恵を生み出すような革新体質づくりに、コンサルタントが潤滑油となって気づきを与えることを意図しています。激しく変化するビジネス環境において、企業を変える観点は、これまでのような効率性や経済性だけでなく、社会的責任や生物多様性のようなこれまでに無かった観点が加わってきています。環境の変化に適応するために、様々な人が知恵を出しあう企業体質の構築が必要であります。このような意図を踏まえ、コンサルタントがきっかけとなり、お客様企業において、知恵を出し合い、大きな効果となる一連の「知恵の連鎖」がよく現れているものを全体の中から7編を厳選させていただきました。ご一読いただき、これらの意図を少しでもご理解いただければ幸いです。

いつの時代においても、事例を学ぶことの重要性は変わりません。特に、先進事例については、業種・業態の枠を越えて貴重なヒントを提供できることを私たちは経験しています。本誌に掲載しました21編の論文・事例を、企業や業種の枠を越えた広い分野の方々にご一読いただき、印象に残る何らかの気づきを見出していただければ幸いです。